

## 質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2021 年 2 月 2 日

「インド国タミル・ナド州生物多様性保全・植林事業(フェーズ2)準備調査【有償勘定技術支援】」  
(公示日:2021 年 1 月 20 日/公示番号:20a00961)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書、p29 5. 相手国の便宜供与	本調査期間中調査団への事務所スペースの便宜供与受けられるでしょうか。供与を受けられる場合には事務所内で使用可能な備品もご教示いただけますでしょうか。	TNFD より 10 人~15 人程度収容可能な事務所スペースの便宜供与を受けられる予定です。机・椅子といった備品はご使用頂けます。
2		地図や衛星画像などは、TNFD から提供されるでしょうか？また、調査に必要な地図データの加工は、TNFD で行っていただけるでしょうか？	地図や衛星画像のデータについては TNFD から提供可能です。地図データの加工は森林局傘下の Geomatics Center へ依頼する必要があり、対応に制約がある場合や時間を要する可能性があります。
3		コロナ禍において業務を実施するにあたり必要な経費は別見積りに計上してよろしいでしょうか。	PCR 検査費や隔離期間の宿泊費等は現時点では見積りは不要です。 なお、渡航前後に同経費が必要となった場合には、その時点で打合簿を取り交わし、経費の支払いに対応します。
4	11 頁 第 2 章 4. 配布資料/閲覧資料等	「インド国タミル・ナド州生物多様性保全・植林事業(フェーズ 1)」の業務完了報告書、或いは評価報告書など、具体的な実績が分かる資料が存在するのであれば共有いただけないでしょうか。	本案件は現在植林活動のモニタリングを行っている段階であり、業務完了報告書、及び評価報告書は未作成となります。他方、添付「事前事業評価表」の運用・効果指標の目標値をほぼ達成する見込みです。

5	15 頁 第 3 章 5. 実施方針及び留意事項 (7)事業成果向上のための日印の研究機関との協力の検討	「日本の大学等研究機関と本調査と並行して協議を行っており、本事業の計画に反映させるべく連携方法について検討を進めている」の記載に関し、 <u>生物多様性保全</u> や <u>生態系サービス</u> 等に知見のある大学との連携を検討、とあります。下線を引いた両者ともに範囲が広いのですが、特定の生態系での生物多様性保全、特定の生態系サービスなのでしょうか。	特定の生物多様性保全・生態系サービスに限ってはおりませんが、グリーンインフラやEco-DRR、気候変動対策(緩和)に関連する分野の知見に富む大学等研究機関との連携を検討しております。
6	15 頁 第 3 章 5. 実施方針及び留意事項 (8)事業対象の選定	森林管理区レベルの選定とありますが、この対象地は p18 (3) 自然資源利用実態調査と同じものでしょうか。	事業対象地域となる森林管理区は Range レベルを想定しています。自然資源利用実態調査はコミュニティ単位でのサンプル調査を想定しています。
7	18 頁 第 3 章 6. 調査の内容 (4)民間企業及び研究機関へのヒアリング	この研究機関は林産物サプライチェーンだけに関係した機関を指しているのでしょうか。	林産物サプライチェーンのみならず、「(7)事業成果向上のための日印の研究機関との協力の検討」に明記した研究機関と同義になります。
8	29 頁 第 4 章 5. 相手国の便宜供与	調査団が使用する執務室は、調査団が独自に用意する必要があるか、確認させていただけないでしょうか。	質問1への回答のとおりです。
9	オフィススペースについて	調査団が使用するオフィススペースについて、カウンターパートから提供されることになっているのでしょうか。	質問1への回答のとおりです。
10	概略設計について	インフラ整備の概略設計については、どの程度の精度での設計を想定されているのでしょうか。	植林等主要且つ典型的なインフラについて、概算事業費及び工期が算出できる程度の設計を想定しています。

以上